

活動タイトル	発達障がい児の母親・一般市民向け 障がい特性啓発と子育て支援活動	団体名	NPO法人 アズウィッシュ		
<p>1年間の活動 (アウトプット)の 目標 (事業全体)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 講演会の開催 ペアレントトレーニングの開催 グループカウンセリング・傾聴カフェの開催 傾聴ワークの開催 発達障がい特性理解ワークの開催 前2、4、5の活動を通じて、一般の支援者志望の方や当会スタッフの支援スキルの向上をめざす 		<p>■活動風景</p>		
<p>■活動報告</p>	<p>■1年間の目標に対する達成状況</p>	<p>発達障がい学童期・思春期の同級生トラブルとその支援</p>	 <p>6/2 石川道子先生 講演会を、大阪市北区・ドーンセンターで開催。</p>		
<ol style="list-style-type: none"> 講演会の開催 石川道子先生の講演会を3回実施：参加者75名（11/25、12/9、6/2） テーマ：「発達障がい 学童期・思春期の同級生トラブルとその支援」 ペアレントトレーニングの開催 6回シリーズに参加者15名 グループカウンセリング・傾聴カフェの開催 (1) グループカウンセリング・ミニ講演会：参加者3名 (2) グループカウンセリング3回実施：参加者14名（2/22、5/19、7/20） なお、7/20については、ミニ講演会「発達障がいの基礎知識～孤立する母子支援」とピアカウンセリングを開催。 傾聴ワークの開催 2コースで述べ17名の参加者中延べ5名が当事者会リーダーとカウンセラーを志望し、ピアサポートの傾聴スキルアップについて学んだ。 発達障がい特性理解ワークの開催 全11回開催し、延べ131名の参加があった。 	<ol style="list-style-type: none"> 石川道子先生の講演会で実施したアンケートでは、5段階評価を行い、約97%が「大変良かった」「良かった」と回答しており、非常に好評であった。 参加者からは、発達障がいの特性が理解できたことにより、親子関係の改善につながったとの声が寄せられた。 グループカウンセリング（3回）の開催については、参加者から高い満足度の回答が得られたが、大阪市・大正区のミニ講演会では参加者が想定を大きく下回る結果となった。今後の課題として、告知方法や講演タイトルの設定などについて検討することとした。 当事者会の運営リーダーであるピアサポーターの育成に効果をあげた。人の話を聴くということに対して、参加者は、傾聴力の向上を実感していた。 発達障がい特性理解ワークは、盛況のうちに全11回/年を開催。 参加者は、発達障がいの当事者・保護者・支援者であり、その多くは当事者がほとんどであった。彼らは、自分の困りごとを解決し、安定した自立や就労を得るために、自らの特性理解の重要性に気付いた人たちである。 最終の開催では、「安定就労」にテーマを絞ってワークを実施したところ、講義に熱心に聞き入り、自分たちの働き方に関して深く考察・内省する姿があった。 各イベントを開催していく中で、当会のスタッフも、運営ノウハウを一層修得し、イベントとしてもファシリテーターとしても、支援スキルを向上させることができた。 		<p>10月9日 SST傾聴ワーク</p>		
<p>■1年間の活動のまとめ</p>	<p>■事業を通じて得られたノウハウ</p>	<p>■実施した人材育成策</p>	<p>■活動成果のアピールポイント（自由記入）</p>		
<p>本事業では、発達障がいを主テーマに、多くのイベントを開催した。 発達障がいの当事者・保護者・支援者など、多様な方々が参加された。 それぞれに、発達障がい理解の促進があり、当事者さんには自己理解の促進と生きづらさ、保護者には育児負担が軽減され、支援者にはスキル向上がみられた。 すべてのイベントは、当会スタッフによる安全安心な場での「受容共感」をモットーに開催した。参加されたあらゆる人にとって、居場所として心地よい空間で、それぞれ自分の問題解決にじっくり取り組み、心理的な課題克服に向かって行っていただけたと感じている。</p>	<p>多様なイベント開催を通じて、常に参加者ニーズに目を配り、気をまわし、それぞれのイベントごとに、一つ一つ小さなマイナーチェンジを繰り返し、よりよいイベントの在り方、参加者がレポートして下さるよう向上した。 その小さな積み重ねにより、スタッフはイベント開催ノウハウを学び、支援スキルを向上させることができた。</p>	<p>・傾聴ワークにおいて、自助会主催者 2名、カウンセリング研修志望者 1名に研修を実施。 傾聴の大切さを実感していただくとともに、その難しさも理解された。今後の継続的な学びへの意欲を感じたことが、一番うれしいところだった。 ・当会スタッフが、特性理解ワーク・傾聴ワークに参加し研修を受けた。 支援スキルUPとともに、イベント運営ノウハウについても研鑽を重ねることができた。</p>	<p>この1年間の活動を通じて</p>	<p style="text-align: center;">発達障がい理解の促進 親子関係の改善 支援スキルの向上</p>	<p style="text-align: center;">を達成しました。</p>
			<p>■受益者の変化（効果測定結果等）</p>		
			<p>・石川先生の講演会や、当会によるミニ講演での参加者からのアンケート結果では、80～90%を超える高い満足度の回答が得られた。発達障がいへの理解促進のコメントが多数あった。 ・ペアトレ受講者では、発達障がいへの理解度の向上、親子関係の改善を実感するアンケート結果が得られた。 ・傾聴ワークでは、ファシリテーターとしての傾聴スキルアップを実感できたようであった。 ・発達障がい特性理解ワークでは、特性理解の促進と、当事者さんでは生きづらさの軽減が果たせた、との声が多数届いた。スピーチの後のグループワークでも、安全・安心な場で受容される居場所の心地よさを味わっていただけた。</p>		